

本時のねらい 4/16 (オレンジコース)
 ドーナツの絵から「 3×4 」の立式ができ、おはじきを操作しながら考えるを通して、「 3×4 」の答えをたし算(同数累加)で求めることができる。

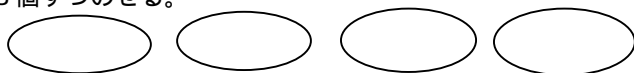
段階	学 習 活 動
つかむ	1、問題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ドーナツが3こずつはいったパックが4つあります。ドーナツはぜんぶでなんこでしょう。 </div>
考えを持つ	2、ドーナツの数を式に表す。(立式) ・ドーナツは1パックに同じ数ずつ入っている。 ・1袋に3こずつ入っている。 ・それが4パックある。 ・式は「 3×4 」だ。
見つける	3、課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 3×4の答えの求め方をおはじきを使って考えよう。 </div> 4、個人追究 ・おはじきで考える。 「1, 2, 3, 4・・・」と数える 「1, 2, 3」「4, 5, 6」「7, 8, 9」 「10, 11, 12」と数える。 3と3で6、6と6で12 3と3で6、6と3で9、9と3で12 <u>答え 12こ</u>
	5、交流 1)隣同士で自分のやり方を話す。 2)みんなの前で発表する。 6、まとめる。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> $\begin{array}{c} \times 4 = 12 \\ \swarrow \downarrow \searrow \\ + \quad + \quad + = 12 \end{array}$ </div>
確かにする	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> かけ算の答えは、1つ分の数をいくつ分だけたせばいい。 </div> 6、練習問題をする。 ・ P, 11 えんぴつ問題4をする 4この5つぶん、7この2つぶん 6この3つぶん、5この6つぶん ・ 答え合わせをする。 7、ふりかえりをする。(挙手で行う) ・ 自分の考えが話せたか ・ 友達のやり方が分かったか ・ 今日の学習は分かったか

評価規準
<表現・処理>
被乗数を乗数の数だけ累加する方法で、
積を求めることができる。

個のつまずきに対する指導・援助

- ・パックに入ったドーナツの絵を提示する。
- ・数字とそれを示す言葉をつなげる。
「3」 1パックに入っているドーナツの数
「4」 パックの数
- ・ドーナツのそばにおはじきをはり、対応させる。
- ・何算を使えばいいのかわかる言葉を見つける。
「3こずつ」「パックが4つ」
「全部で何個」
- ・前時の学習を思い出させる
「1つに ずつ つぶんで 」
× =

- ・おはじき用のプリントを用意する。
3個ずつのせる。



- ・ の子には、3つを基に考えるとよいことを話す。
- ・ の子には2パックではいくつになるか。
3パックでは・・と考えさせる。
- ・ の子には手で合わせるポーズをとらせる。
また、「もう1袋あったらどうする」と聞く。
常に「3個ずつ」を意識させる。
- ・ たし算で答えを出した子も認める。
- ・ 「わたしのやり方を言います。」
- ・ みんなに聞こえる声で話すよう促す。
- ・ 『「 」と「 」でいくつ』という考えから、たし算を繰り返していることに気づかせる。
- ・ 「全部で」の言葉からたし算で求めていることを確かめる。
- ・ 繰り返して足す数(1つ分の数)が「×の前にくる」ことを確かめる。
- ・ 説明の仕方を繰り返し唱えさせる。
「3×4の答えは
1つ分が3なので
3を4つ足した3+3+3+3の計算で出せる」
- ・ 理解が不十分な児童には、おはじき操作から取り組ませる。
- ・ たし算を必ず書かせる。
(1つ分の数を で囲ませる)
- ・ できた問題を教科書にチェックする。
- ・ 手を挙げた子には、うなずいてこたえる。
- ・ さっと挙げられない子には、どこが難しかったかたずねる。
- ・ 次時の学習の予告をする。